

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年 5月16日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	2号機	タービン建屋1階通路(管理区域内)の避難誘導灯(2箇所)において、電気回路の接触不良により誘導灯が消灯していることが認められたため、当該避難誘導灯を点検・修理。 なお、5月12日に当該避難誘導灯の修理を実施した。	GⅢ	5月11日
2	3号機	サービス建屋・タービン建屋連絡通路(管理区域内)の避難誘導灯(1箇所)において、損傷により誘導灯が消灯していることが認められたため、当該避難誘導灯を交換・修理。 なお、交換完了までの代替措置として蓄光誘導標識を設置。	GⅢ	5月10日
3	4号機	原子炉建屋付属棟1階(非管理区域)の換気空調系廃棄物処理区域排気ファン室の壁面において、未使用の貫通部が閉止されておらず、非管理区域から管理区域への空気の流入が認められたため、当該貫通部を閉止。 なお、空気は管理区域側へ流れていたことから、系外への放射性物質の流出はない。 また、閉止されていなかった貫通部は5月12日に閉止処理を実施した。	GⅢ	5月12日
4	3・4号廃棄物処理設備	タンクベント系固化設備機器排気フィルタユニット出口酸素濃度(A)記録計において、ダウンスケール(指示値の目盛板下限値未満)が認められたため、当該記録計を点検・修理。	GⅢ	5月11日